



代表取締役 社長執行役員

白居 賢

### 株主の皆様へ

初冬の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期も依然として新型コロナウイルスの影響を大きく受け、景気回復のスピードは緩やかなものになりました。当社の主要顧客である電子部品業界においては、前年下半期からの流れを引き継いで荷動きは活発に推移しました。一方で需要急増に対する供給面の制約など、マイナス材料も出てきております。

当社はコロナウイルスによる制約を受けながらも、顧客のサプライチェーンの変化に対応したサービスの向上、倉庫内業務の生産性向上などに取り組みました。消費物流では新規にメディカル関連分野の拡大などを図りました。この結果、当上半期の業績は増収増益を確保することができました。

下半期は、中国の景気回復鈍化や米国のインフレ懸念、製造業における半導体不足の影響など不透明要因が存在しますので、これまで以上に市場動向を注視し、拡販に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 2021年9月 第2四半期 IRレポート

～ 2021年4月1日から2021年9月30日まで～

## 株式の概況 (2021年9月30日現在)

### ■株式の状況



### ■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプスアルパイン(株)	16,526	46.7
TDK(株)	2,804	7.9
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,698	7.6
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,642	4.6
アルパイン(株)	792	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

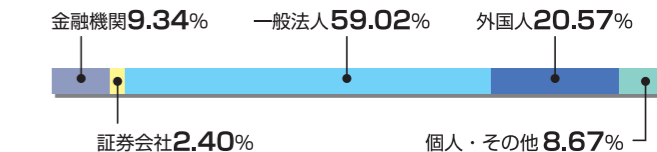
## 会社情報 (2021年9月30日 現在)

社名 株式会社アルプス物流(証券コード 9055)  
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.  
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756  
 電話番号 045-531-4133(代表)  
 設立 1964年7月2日  
 資本金 23億4,904万円  
 社員数 (連結) 5,858名 (単独) 963名  
 運行車輛数 (連結) 3,442台 (単独) 715台  
 倉庫面積 (連結) 923千㎡ (単独) 296千㎡

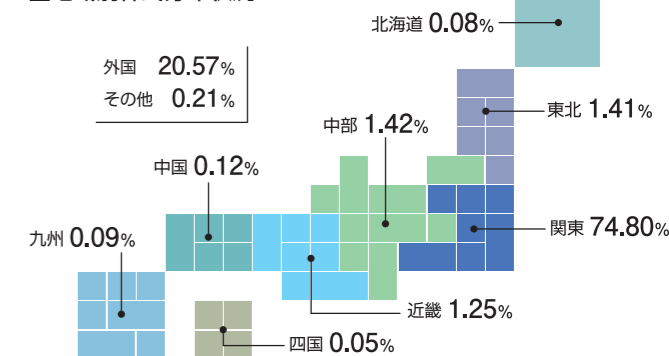
### 【株主優待制度のご案内】

- ◆対象となる株主様: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様
- ◆優待内容: QUOカード1,000円分 ◆贈呈時期: 6月下旬頃

### ■所有者別株式分布状況



### ■地域別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711(通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。  
 ・特別口座に登録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

**物流個性** ●ホームページURL <https://www.alps-logistics.com/>  
 ●IR情報URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>  
お客様のための、最適物流を。

## 当第2四半期の連結業績実績及び通期予想

(単位：百万円、率：前年同期比増減)

2022年3月期 第2四半期累計(実績)	
売上高	56,130 (25.4%) ↑
営業利益	3,200 (119.9%) ↑
経常利益	2,958 (104.1%) ↑
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,710 (114.5%) ↑

2022年3月期(予想)	
売上高	105,200 (4.6%) ↑
営業利益	4,800 (1.6%) ↑
経常利益	4,700 (△4.6%) ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	2,800 (△3.5%) ↓

### 連結業績の概況 (2021年4月1日～2021年9月30日)



当期の事業環境は依然新型コロナウイルスの影響を大きく受け、主要顧客である電子機器、車載関連業界においては、需要の急増に伴う物流・サプライチェーンの混乱や半導体不足による工場の生産調整など、

供給面の制約もあり回復ペースは緩やかに became.

当社は新型コロナウイルス感染再拡大防止のために十分な対策を講じ、世界各国において異なる規制に対応しながら、顧客のサプライチェーンの変化に対応すべく、サービスの向上に取り組みました。当期の連結売上高は、前期比25.4%増の561億円に、連結営業利益は、119.9%増の32億円となりました。

#### ▼電子部品物流セグメント

国内中心に保管、運送、輸出入において、売上高が増加しました。生産性向上の取り組みでは、幹線便ネットワーク再編、保管事業のIT化推進など効率化を図り、増収増益を確保することができました。

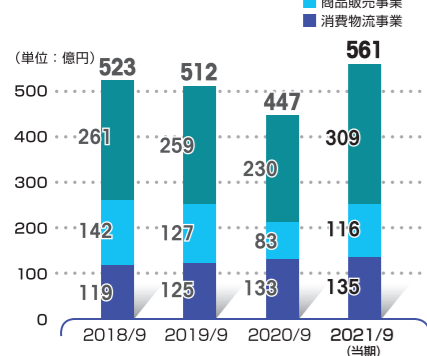
#### ▼商品販売セグメント

前期の需要落ち込みの反動もあり、通信・情報機器、車載関連ともに日本、中国、北米などで増加し、増収増益となりました。

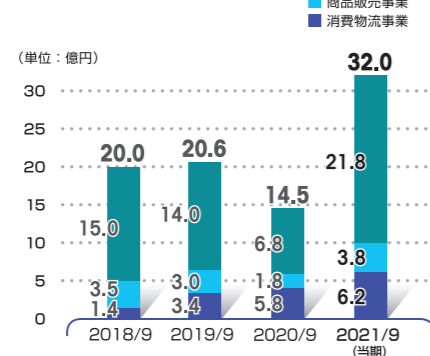
#### ▼消費物流セグメント

新規に稼働を開始したメディカル関連が寄与、また在宅時間長期化の生活様式が継続していることから通販・宅配需要は高水準での横ばい状態が続き、増収増益となりました。

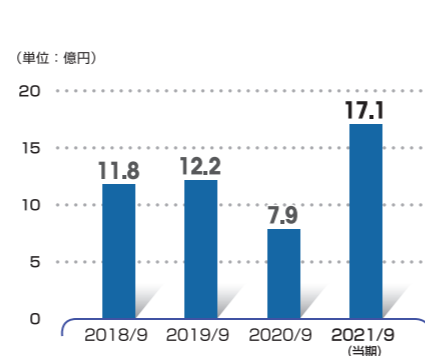
#### 売上高



#### 営業利益



#### 親会社株主に帰属する四半期純利益



## トピックス

### 新市場区分「プライム市場」選択

当社は、2021年7月東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、「プライム市場」の上場基準に適合していることを確認しました。この結果を踏まえ、2022年4月に予定されている新市場区分への移行において当社は「プライム市場」を選択することを決定しました。今後も引き続きさらなる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。また、東証一部指定（2021年1月）のセレモニーが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期となっておりましたが、10月に実施され、上場通知書の授与、白居社長以下代表社員による上場記念の打鐘が行われました。

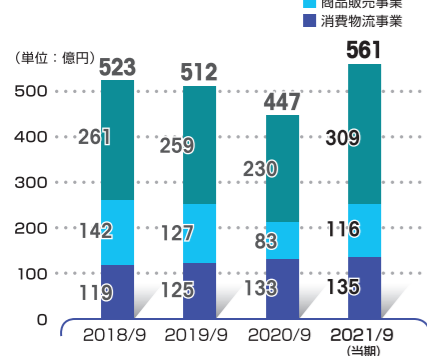


### 国内倉庫拠点をさらに拡大

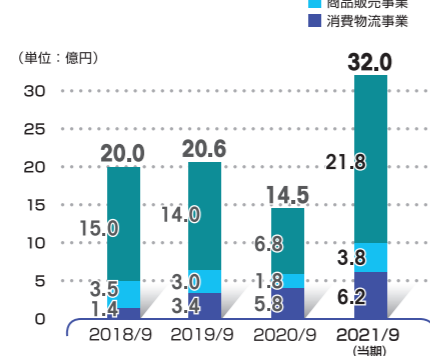
当社は、2022年9月竣工に向け、横浜営業所敷地内に新たな倉庫の建設に着工しました。新倉庫は延床面積約9,000㎡、4階建てで、特に首都圏の電子部品メーカー、半導体商社のお客様よりいただいている倉庫のご要望にお応えすることが狙いです。横浜営業所は、既存の倉庫棟に加え新倉庫建設により、敷地内の倉庫面積は当社グループ最大の約46,000㎡となる見込みです。また、中京地区では2024年の竣工予定で3万㎡の倉庫建設を予定しており、埼玉県加須市では第2倉庫の新設を検討しております。当社グループは、今後もネットワーク拡充を進め、サービスの向上を図ってまいります。



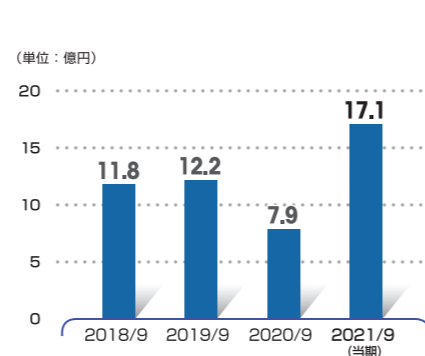
#### 財務状況



#### 設備投資・減価償却費



#### ROE・ROA



※ 2021/9期は年率換算して算出しています。